

令和6年度福岡市子どもプラザ事業運営団体選考に係る協議会 議事要旨

- 【開催日時】 令和6年11月14日（木） 13：30～14：30
【場所】 アクロス福岡 605 会議室
【議題】 1 応募団体プレゼンテーション・質疑応答
2 応募内容の審査・評価、意見交換
【出席者】 中村委員長、川上委員、植山委員、山崎委員

城南区子どもプラザの選考

（応募団体A）

委員：主なイベントは子どもプラザ内ではなく外で行うとのことだが、イベントはどのような形で運営をしているのか。

応募団体：鳥飼プレーパークについては、スタッフ1名、コンシェルジュ1名が外に出かけて参加。親子には直接公園に集合してもらう。事前に、公園へ行ってゴミを拾い、公園利用者に一言声掛けしたりパンフレットを渡しこれからイベントを行うことを周知してから実施している。保険加入済み。

委員：体調不良時の対応はどうしているのか。

応募団体：利用をお控えいただき、近隣の小児科をご案内するなどしている。吐き戻し用のキットも準備している。

委員：利用の周知はどのように行っているか。

応募団体：乳幼児健診、マタニティスクールに参加してPRしたり、全戸母子家庭訪問の時に子どもプラザのリーフレットを配布してもらうなど。SNSやHPなども使用している。外からも分かりやすいようにウィンドウサインを掲示している。

委員：オンライン講座のとき、専門相談の先生はどこで相談対応をするのか。

応募団体：プラザ内で対応をしている。

委員：ボランティア養成での苦勞はないか。

応募団体：抱っこボランティアについては、社協を通じて子育てマイスターを紹介してもらった。子育てマイスターはすでに県の養成講座を受講済み。
ボランティアには、注意事項を口頭でお伝えして、説明漏れがないよう資料もお渡ししている。見学し納得いただいてから登録してもらっている。

委員：外国籍などの利用者への対応はどうしているのか。

応募団体：独自で一目でわかるようなサイン表示の資料を作成しており、資料をお見せしな

がら利用方法の案内などを行っている。

委員：多くのスタッフから意見を吸い上げるのは大変ではないか。また、それをどのように共有しているのか。

応募団体：定期的にスタッフ会議を行って共有している。多くの親子が利用されるので、相談が多岐にわたり深い内容になることもある。多くの情報を持っていないと対応できない。各スタッフが日頃より利用者からの声を聞き拾い上げてスタッフ間で共有することを大切にしている。

委員：年数が短い方もいるようだが、スタッフの入れ替わりはあるのか。

応募団体：入れ替わりがあったわけではない。コンシェルジュが配置されたタイミングでスタッフを増員しており、利用者の方をスタッフとして新たに雇用した。

総評

応募団体Aに関して

- ・地域での活動も豊富で、活動が地域に根付いており、他機関とうまく連携が取れている。
- ・人の入れ替わりもなく、人員配置では、利用者からスタッフに、と良い循環が見て取れる。
- ・これまでの実績も十分で、今後の活動も期待ができる。